ポータルサイトにおけるUIデザインの提案

-北海道情報大学通信教育部無限大キャンパスにおける視覚的研究-

目次

1. チーム紹介
2. 序論
3. デザイン調査結果
4. 改善案の提示
5. アンケート結果
6. 考察

研究概要

・見にくく、使いづらいポータルサイト

　本学に設置されているポータルサイトのデザインが、2007年の10年前以上前のもので、学校と生徒間を繋ぐものであるにもかかわらず、画面の使いにくさについて指摘されている。

・ユーザに聞き取り調査

このため、実際どのような問題があるのかを把握する必要性を感じ、まずチーム内でどのような問題があるのか、どのように改善すれば使いやすく、見やすいサイトになるのかを思案するなど問題点を洗い出した。

・こんなUIのほうが見やすく、使いやすいのでは？

本研究では、実際にシステム設計・UI設計を行い、改善案を提示します。その後、学生（正科生B）を対象とする利用者インターフェースの定量調査等を通じて、どのように改善すれば、ユーザビリティの観点から見やすい・使いやすいのかを考察します。

研究目的

　本研究では、どのパターンがユーザビリティの観点で見やすい・使いやすいのかを明らかにします。

複数の案というところで、今回は３つの改善案を提示します。

「ボタンなどの要素のみMaterial Designに変更、配置はそのまま」

「東京工芸大学HPを模倣したもの」

「デモサイトを基にしたもの」

　プロセスは、現代のデザインのガイドラインについての調査、無限大キャンパスにおけるデザインの問題の調査の順に事前調査を行いました。そのうえで、調査結果をもとに改善案を提示して、その評価をしてもらいます。

研究方法

　本研究では、まずデザインにおける問題点を明らかにするために定性的ユーザビリティにおけるインタビューとヤコブ・ニールセンの10原則を用いた本学ポータルサイトの批評という手法を用いて調査を行いました。その後、改善案における定量評価を行う予定です。

仮説

　本研究の仮説として、先行研究では主にスマホにおけるUI設計ガイドラインについて説明されていましたが、これをポータルサイトに流用できないか？と考え、視覚的に見やすく、利用しやすくなることが考えられます。

改善案

　前節でも述べましたが、改善案としてこちらの３つの案を提示しています。では、それぞれ紹介していきます。